

令和4年度第3回自立支援協議会就労支援部会 議事要旨

1. 開催日時 令和5年2月2日(木) 午後2時～午後4時
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3 (オンラインと併用)
3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載
(特非) ワーカーズコープ、(株) 徳正、いちょうの会、浦安市身体障害者福祉会
浦安手をつなぐ親の会、(福) 敬心福祉会、(福) パーソナル・アシスタンスとも
(特非) かぶあ、(特非) タオ、(福) 千楽、ウェルビー(株)、(株) オリエンタルラン
ド、大東コーポレートサービス(株)、(株) リクルートスタッフィングクラブツ、障害
者就業・生活支援センターいちされん、市川公共職業安定所
千葉県立市川特別支援学校、千葉県立特別支援学校市川大野高等学園
(事務局) 障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 令和4年度第3回自立支援協議会の協議内容の報告について
 - (2) 令和4年度第2回就労支援部会の振り返りについて
 - (3) 障がい者雇用に関するアンケート報告について
 - ・企業
 - ・当事者(求職者)
 - ・当事者(就労者)
 - (4) アンケート結果検証と活用について
 - (5) 令和3・4年度就労支援部会の振り返りについて
 - (6) その他
3. 閉会

5. 配布資料

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 議題(1)資料1 | 第3回浦安市自立支援協議会(令和4年11月17日(木))報告 |
| 議題(2)資料1 | 令和4年度第2回就労支援部会の振り返りについて |
| 議題(3)資料1 | 障がい者雇用に関するアンケート(企業用) |
| 議題(3)資料2 | 障がい者雇用に関するアンケート(求職者用) |
| 議題(3)資料3 | 障がい者雇用に関するアンケート(就労者用) |
| 議題(4)資料1 | 障がい者雇用に関するアンケート所見 |
| 議題(4)資料2 | グループディスカッションについて |
| 議題(4)資料3 | グループディスカッション用 見える化表 |
| 議題(5)資料1 | 令和3・4年度就労支援部会の振り返りについて |

6. 議事概要

(1) 令和4年度第3回自立支援協議会の協議内容の報告について

■説明（事務局）

第3回自立支援協議会の協議内容（就労支援部会を除く）について説明した。

■主な意見

特になし。

(2) 令和4年度第2回就労支援部会の振り返りについて

■説明（リーダー）

令和4年11月7日に開催した標記会議の議題を紹介した。主に議題4「障がい者及び企業に行うアンケートについて」のアンケート内容の意見の説明があった。

■主な意見

特になし。

(3) 障がい者雇用に関するアンケート報告について

■説明（事務局）

アンケートの対象者及び実施方法等の説明後、アンケート結果の所見について説明した。

■主な意見

（委員）

企業用アンケートの回答率について、事務局の考えを伺いたい。

→（事務局）

アンケートの実施方法に工夫が必要であったと考えている。

(4) アンケート結果検証と活用について

■説明

グループディスカッションの流れ、テーマ等を事務局から説明後、3グループに分かれてグループディスカッションを実施。その後、各グループより意見を発表した。

■主な意見

テーマ1 一般企業にどうやって障がい者雇用について関心を持ってもらうか。

○Aグループ

- ・アンケートの実施時期が12月と企業にとって繁忙期だったため、時期を変更して比較的繁忙期でない時期に実施してはどうか。
- ・QRコードを使用した電子アンケートではなく、紙媒体のアンケートにしてはどうか。
- ・商工会議所の会報に依頼文を挟むのでは、見落としてしまったり、見られない可能性が高いため、実際に訪問してみてもどうか。

○Bグループ

- ・今回の実施方法だと、依頼文に気づいてもらえない可能性が高いため、実施方法の改善が必要である。

改善案

- ①メールで各社に依頼し、回答がない会社には催促の旨をメールする。
- ②依頼文を浦安市長または、厚生労働省からとして出す。
- ③回答してくれた企業用の特典を用意する。

- ・今回のアンケート結果で、一概に障がい者雇用への関心が低いとは言えないのではないか。

○Cグループ

- ・アンケートや企業にとってのメリットを、もっと明確に伝えたほうがいい。

○リーダーまとめ

- ・アンケート方法や実施時期についての検討が必要である。
- ・企業にとってのメリットを提示できるようなアンケートにする。

テーマ2 仕事でやりがいを感じてもらうために必要なことは何か。

○Aグループ

- ・本人のやる気、強みを活かすために工夫が必要である。

○Bグループ

- ・会社内に個人を褒める内容の掲示物を掲示することで、本人のやる気、やりがいが増えるのではないか（給料をもらったことよりも、仕事・成果等を褒めたほうが当事者は喜んでいたため）。
- ・仕事の内容や成果に応じてランク分けし、本人のモチベーションを向上させる。
- ・人の役に立っている実感が持てるような仕事を用意する。

○Cグループ

- ・ヒアリングを行い、個々に合わせてやりがいを感じてもらえるように配慮する。
- ・個々の評価を可視化させ、モチベーションを向上させる。

○リーダーまとめ

- ・本人を客観的に評価し、褒めてやる気を出してもらうことが大事である。

テーマ2 報告・連絡・相談やあいさつ等がしやすい環境を作るために企業側で工夫できることは何か。

○Aグループ

- ・面談等でコミュニケーションを確保し、悩み等を聞きやすい環境を作る。

○Bグループ

- ・社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持った人を、困った際の頼り先として複数配置する。
- ・仕事の中で気づいたことがあった際、面談等を行い気軽に相談できるような環境を作る。

○Cグループ

- ・相談担当者を設け、定期的にヒアリングを行う。

・企業と当事者が十分なコミュニケーションを取り、当事者の悩みを解決する。

○リーダーまとめ

- ・定期的な面談を行い、相談しやすい環境を作る。
- ・会社内に頼れる人を作る。
- ・企業側の意識を高めるために、まずは商工会議所の会合等に顔を出してみるという意見も参考にしたい。

(5) 令和3・4年度就労支援部会の振り返りについて

■説明（リーダー）

令和3・4年度の就労支援部会の振り返りを行った。

■主な意見

特になし。

(6) その他

■説明（事務局）

2月10日に開催する、発達障がいについての講演会の案内を行った。

■主な意見

特になし。